

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1209	単位数	2
担当者名	元山 啓	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次

● 授業のねらい

この演習では、ミクロ経済学の「エッセンス」の理解と論理的思考を修得する。内容は、各回のトピックスを消化することで、基礎理論から応用へと段階的に進むことができるように組み立てられている。また、必要な数学の解説はトピックスに応じて行う。この演習を通して、ミクロ経済学を構成する各論ごとの課題を解決する道筋を自ら発見することをねらいとする。

● 到達目標

- ・ 経済学の正確な理解に必要な最低限の数学を習得する。
- ・ 理論における論理の一貫性と整合性を理解できる。
- ・ 道具としての数学の有用性を理解する。
- ・ 仮定や与件の含意を理解する。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：ゼミの進め方、演習内容（講義計画）について、予習と復習について
- 2週目 消費者選好理論（1）：集合、ベクトル、基数と序数、選好序列、予算の制約
- 3週目 消費者選好理論（2）：単調関数、微分と導関数
- 4週目 消費者選好理論（3）：効用関数と無差別曲線
- 5週目 消費者選好理論（4）：最適消費行動、スルツキー分解、需要関数、弾力性
- 6週目 企業行動理論（1）：生産関数と等量曲線、費用の制約、双対問題
- 7週目 企業行動理論（2）：短期の最適生産量、費用関数、供給関数、長期費用曲線
- 8週目 企業行動（3）：不完全競争市場（独占、寡占、競争的独占）
- 9週目 市場理論（1）：均衡の安定性、市場の効率性（余剰分析）
- 10週目 市場理論（2）：パレート最適性、市場の失敗
- 11週目 市場理論（3）：政府の失敗
- 12週目 労働・余暇選好理論、消費・貯蓄決定理論（異時点間最適化問題）
- 13週目 情報、不確実性、期待に関する諸理論
- 14週目 標準型ゲーム、展開型ゲーム、ナッシュ均衡、シュタッケルベルグ均衡
- 15週目 分権的市場取引とサーチ行動
- 16週目 総括：ミクロ経済学の体系

● 準備学習(予習・復習)等の内容

- ・ 各週2時間の予習・復習を行うこと。
- ・ 予習：次回の演習内容について、CoursePower上に公開する要点に沿って、次回までに不明な点を整理しておくこと。
- ・ 復習：毎回の課題に対する解答を次回までに準備すること。

● 成績評価の方法・基準

- ・ 成績評価は、各回の課題に対する解答の評点平均で行う。各回の課題は、理論と数学の複合問題で構成され、点数化が可能な形で出題される。解答の形式はペーパーだけではなく口頭発表の場合もある。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

- ・ 成績評価は、全16週のうち11週以上授業に出席した学生を対象に行う。
- ・ 各週の課題に対しては、次週の演習の最初に講評を行う。
- ・ 無断欠席は認めない。ただし、正当な理由で、やむを得ず欠席した場合は、その旨を事後的に届け出ること。

● テキスト

特になし。
演習に必要な資料や文献は、順次、CoursePower上に公開するので、指示に従って各自プリントアウトし必ず持参すること。

● 参考書

荒井一博『ミクロ経済学 第2版（有斐閣アルマ）』（有斐閣）2,916円。

● 更新日付

2019/01/13 04:17